

まいすずめ

舞すずめ

結成：平成9年
受賞歴：
子すずめ銅賞(平成11年)、
小すずめ銀賞(平成12年)、
小すずめ大賞(平成13年)、
六右衛門賞(平成20年)

すずめっこクラブ2期生と3期生で、卒業の翌年、「踊れ！すずめっ子」として結成しました。現在の祭連名は、小さい雀が楽しそうに遊ぶ姿を思い、踊り手の子供たちが相談して選考しました。



法被の色は、踊り手は濃桃色、お囃子方は濃紺色です。
結成当初は踊り手のみで全員小学生以下の女の子でしたので、彼女たちに似合う色にしました。その後、親の会でお囃子隊も結成しましたので、お囃子方は濃紺色としました。デザインは、伊達政宗公の兜の大きな三日月の前立てを意識して、メンバーが作製しました。



扇子は片面を濃桃色、片面を緑色として、それぞれ銀色の星を散らしました。青葉まつりの定禅寺通りの榎並木の下を可愛い子雀たちが戯れる様子が表現できればと思い決めました。

結成して25年、当初のメンバーは2人になりましたが、あの頃のまま、伝統を守りながら、新旧メンバーと練習し活動しています。お囃子は、子供たちが進学や就職で抜けても親は残り、一緒に活動中！
子すずめも健在！ 家族のような存在です。

